



Microsoft Word のキホンとは？

私が初めてワードというソフトに出会ったのは、1993 年です。そのころの OS は Windows3.1 というもので、Windows が初めてマルチタスク（複数のソフトが同時に起動できるしくみ）に対応した OS でした。そのころから比べれば、現在の最新のワード 2013 は、比較にならないほど機能が向上されていますが、ワードの基本となる機能は、大きく変化してはいません。

ワードの基本機能とは何か？

それは、「印刷物を作成するソフト」ということです。

あまり意識されていないことですが、ワードにはプリンタが必須です。もし、あなたのパソコンにプリンタが設定されていなかったとしたら、ワードは起動することができません。しかし、パソコンを購入した人の中には、プリンタを持っていない人もいます。そこで、ワードをインストールすると、「Microsoft XPS Document Writer」という仮想のプリンタが必ず同時にインストールされるようになっているのです。

この「Microsoft XPS Document Writer」をプリンタとして選んで印刷処理を行うと、ファイルの保存画面が出てきます。ここでファイルを保存すると、XPS ファイルというファイル形式で印刷物が書き出されるしくみとなっています。

この XPS ファイルというのは、マイクロソフトオフィスを持っていない人にも、ワードやエクセルで作ったファイルが見えるように、印刷イメージをファイルとして見せるためのファイルなのです。この類いのファイルとしてよく見かけるのが、Adobe の PDF ファイルです。PDF ファイルも、印刷イメージをファイルに書き出したものです。ワード 2010 以降では、「PDF/XPS ドキュメントの作成」という機能が追加されて、簡単に XPS や PDF のファイルを作成できるようになっています。

印刷物を作成する上で最も大切なことは何でしょうか？

最も大切なことは、どのサイズの紙を使用するのか、その紙は縦なのか、横なのか、余白はどれくらいか、文字の方向は横書きなのか、縦書きなのかなど、いわゆる「ページの設定」をどうするかということです。ワードでは、この「ページの設定」をなによりも先に行い、それから内容を書いていくという手順になります。

ページの用意ができたなら、次にすることは内容を書くという作業になります。ここでのポイントは文字と文字のサイズ、そして文字の形です。文字の形のことを「フォント」といいます。フォントや文字のサイズは文字に表情を与えて、読む人の興味を引くために重要な役割をしています。

パソコンにあらかじめ組み込まれているフォントの名前を知ること、ワードの基本として大切なことです。フォントには、日本語フォントと英数字フォントの 2 種類がありますが、そのほかにも、さまざまな言語に対応するフォントがパソコンには組み込まれており、ワードは、世界中のあらゆる言語で印刷物を作成することができます。

ワードは、絶えず進化して新しい機能を増やしなが、パソコンの基本のソフトとしてこれからも存在していくと思います。ワードの基本機能をしっかり学んで、未来のワードにも十分対応できる能力を見つけていただきたいと思います。

ノコテック・ラボ 代表 河野敏明